



入園・入所について

すくすく広場（10月22日）の育児講話
講師：大浦保育園 園長 佐々木 真由美 先生

入園・入所は、何歳であっても、親からそして家族から離れて社会の第一歩を踏み出すのです。子どもにとっては、人生で最も環境が大きく変化する出来事です。この時を大事に考えてあげたいものです。（誕生日と同じように、心に残る思い出に・・・）

人は、親から気質を受け継いで生まれてくるといわれ、生きていく周りの環境、たくさんの経験などにより気質を性格が覆い厚みを増して、やがて人格形成が作られていくのです。大半の幼児は、幼い時に乱暴だったり、恥ずかしがり屋であっても大人になると、そのようなことはなくなるのです。ですから、成長する環境を整えてあげることが大切なのです。

子どもは、周囲の大人をモデルに様々なことを覚えます。一番のモデルは親です。そして、保育園で関わる大人、保育士、友達です。環境とは、物だけではなく、関わってくれた人、出来事など生きている現実、全てなのです。

そこで、保育園（所）、幼稚園への入園・入所につながるのですが、参考にしてください。環境としての園は、次のようなことを生活や活動の中で身に付けてほしいと考えています。

- 1、ことば・・・挨拶、感謝、場面に合わせた言葉など
- 2、社会性・・・ルール、約束事、手順など
- 3、身辺自立能力・・・食べる、排泄、着脱など
- 4、運動能力・・・遊具で遊ぶ、歩く、走る、跳ぶ、くぐる、投げるなど
- 5、情緒・・・泣く、笑う、悔しがる、嬉しがる、寂しい、悲しい経験など
絵本や紙芝居、又は、遊びや生活の中での気持ち体験など
- 6、認知能力・・・外部からの情報処理、自分の状況の認識、数を数える、記憶する、問題解決のために考えるなど。



保育士は、計画を立てねらいを持って子どもの成長発達を願い、小学校入学前にさまざまな自立を促しながら、毎日を生活しています。遊びの中には、たくさんの学びがあります。入園入所のときには、気質と性格をよく理解してもらえるように、園の先生とコミュニケーションをとり、子どもにとっての社会への第一歩を素晴らしい時としてください。その園の特色のある行事、規約なども含め、魅力を感じていただき、子どもの成長のために選んでいただきたいと思います。

♥入園前に気をつけてほしいことは

その子なりに、自分なりの言葉や行動で、思いを伝えられる子に・・・と！

- ・挨拶について・・・家庭内で大人がすることで自然に挨拶ができる子になります。
- ・食事のマナー・・・食膳にトイレを済ませる。 テレビは消す。よく噛んで食べる。音を立てて食べない。 こぼさないように。（こぼしたら拾う）口に食べ物が入ったまま、おしゃべりしない。 歩きながら食べない。食べ物で遊ばない。（感謝の気持ち）



- ・睡眠の習慣の自立・・・2歳ごろからは、自分で8：00～9：00には寝る。寝る前は、暗い部屋にする。（眠りへの環境）



絵本など静かなお話をします。
日常の物音の中で眠る。（神経質にならないように）
生活リズムを整えることが大切です。



- ・排泄の習慣の自立・・・早寝、早起き、3度の食事、運動により身に付きます。
- ・着脱の習慣の自立・・・焦らず、子どもの個性、成長に合わせてその都度教えていくことです。
- ・清潔の習慣の自立・・・大人と一緒に繰り返すことで出来るようになります。汚れているとか汚いと感じる。

- ・身辺自立能力・・・家庭でのしつけが基本です。しつけは し続ける事が大切です。園と家庭が協力して子育てしていくことで子ども達は、成長発達していきます。気づきや困ったことなどを話し合いながら、一緒に子育てをしていきたいと思えます。

♥子育ての3つのポイントは

- 1、家族、夫婦の仲の良さを見せることです。ケンカをすることもありますが、仲良しになる場面もみせてほしいです。
- 2、お菓子をだらだら食べさせないことです。大きくなった時に依存につながります。
 - ・あげる時は、袋菓子で与えるのではなく、お皿に入れて。
- 3、うなずいた数だけ子どもは伸びる。安心して、次のことへ進めます。自信につながります。失敗した時や出来ない時にも、うなずいてあげると考える子になります。